

当初・変更

令和 元年9月24日
 入札執行機関 エネルギー課

**入札（見積）執行調書
 入札（契約）結果書**

年 災		事 項		契約	令和元年9月24日
工事番号	19-11025-0003	委託業務名	Jヴィレッジ水素利用設備設置工事	着工	令和元年9月24日
入札執行年月日	令和元年9月12日	発注種別	-	完成	令和2年3月31日
審 議 番 号	公所		本庁		
路線・河川名	Jヴィレッジ			予 定 価 格	
工 事 箇 所 自	双葉郡檜葉町大字山田岡字美シ森地内			43,274,877	
至					
委 託 概 要	水素利用設備設置に係る設計・施工 一式				

業者コード	指名理由	落 札 者 の 住 所		
業 者 名		入 札 額 及 び 再 入 札 額		落札額（契約額）
		福島県いわき市常磐湯本町日渡74番地の7		
常磐共同ガス(株)		(1) 39,340,798 円	(2)	43,274,877円
		(3)	(4)	
		(1)	(2)	
		(3)	(4)	
		(1)	(2)	
		(3)	(4)	
		(1)	(2)	
		(3)	(4)	
		(1)	(2)	
		(3)	(4)	
		(1)	(2)	
		(3)	(4)	
		(1)	(2)	
		(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。

様式3（裏面）

随意契約とする理由

本工事は、浪江町に建設中の福島水素研究フィールドで製造される水素の県内利用を東京2020大会等を通じてPRするとともに、継続的に水素の安定利用を図るため、Jヴィレッジ敷地内に燃料電池等を設置するものである。

燃料電池の整備及び燃料電池から生じる熱・電気を既存設備で自家消費する一体的なシステムの構築については、各施工業者の固有技術に基づく、様々な仕様や工法等が存在するため、施設の消費電力や熱利用状況等に最も適した燃料電池等の仕様書を県で定めることは極めて困難であるとともに、設計と施工を切り離すことはできない。

このため、「福島県測量等委託業務公募型プロポーザル方式試行要領」に準拠した公募型技術提案により、本業務に最も適した技術提案書の特定を行った。

その結果、下記の者が提出した技術提案書が、Jヴィレッジ水素利用設備設置工事公募型プロポーザル審査委員会において、提出された技術提案書のうち本業務に最も適した技術提案書と特定され、令和元年9月9日に開催された本庁特例入札参加条件等審査委員会において、当該技術提案書の提出者である下記の者を随意契約の相手方とすることについて了承された。

以上より、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第11条第1項第1号「特殊な技術に係る特定役務の調達をする場合において、当該調達の相手方が特定されているとき」に該当するため、下記の者と単独随意契約とすることとした。

記

契約の相手方 商号又は名称 常磐共同ガス株式会社
住 所 福島県いわき市常磐湯本町日渡74番地の7
代 表 者 名 代表取締役社長 猪狩 謙二

変更契約の内容

変更契約年月日	年	月	日
変更後の完成年月日	年	月	日
変更後の契約金額			
変更契約をする理由			
<input type="checkbox"/> 1 現場精査による数量増（減）			
<input type="checkbox"/> 2 （ ） 工事追加による増額			
<input type="checkbox"/> 3 その他（ ）			